

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	乗用車販売店 （営業担当）	販売量の動き	・エコカー減税・新車購入補助金に加え、新型車発売により客の購買意欲は増している。受注ベースで前年比42%増、登録ベースで同8.6%増と3か月連続で前年を上回っている。
	やや良く なっている	百貨店（売場担当）	販売量の動き	・総選挙が終わり、新たな経済対策への期待感もあり、客の雰囲気は明るい。また、気温が低く秋の訪れが早いいためか、衣料品や寝具の動きも前年より良い。
		コンビニ（総務）	来客数の動き	・夏期の売上高は、冷夏及び天候不順の影響で前年を大幅に下回ったが、9月に入り天候に恵まれ、来客数が前年比で3%増加した。
		観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・5～7月は前年に比べて客の動きが非常に悪かったが、8月、9月は前年より少し多かった。これは8月ごろから新型インフルエンザへの客の危機感が少し薄らいだためだと考えられる。
		観光名所（職員）	来客数の動き	・高速道路料金引下げ、大型連休及び天候に恵まれたことにより、来客数が前年比50%増となっている。
	変わらない	一般小売店〔酒類〕（経営者）	販売量の動き	・大型連休があったが、普段と比べ大きな変化は感じられなかった。
		百貨店（営業担当）	単価の動き	・個人消費は、3か月ほど前から徐々に活発になりつつある。客の購入単価が、少し安定してきており、婦人服の高級既製服の販売も少し活発になった。
		百貨店（営業担当）	それ以外	・前年同月に比べ来客数は上回ったが、売上高は前年水準を確保できなかった。宝飾品、美術品等の高額品及びダイニング、リビング、高級既製服、メンズデザイン等の高感度商品も苦戦した。一方、食品類等は前年同月水準を確保した。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・価格を下げて販売量が増えなくなっている。この傾向は、7月ごろから継続している。
		衣料品専門店（総務担当）	お客様の様子	・客単価の低下は依然として続いており、売上も前年比5%程度マイナスである。大型連休は県外への買物客の流出もあったためか客も少なく、売上を増加させる要因にはならなかった。
		家電量販店（店長）	販売量の動き	・売上高と共に、客の動員数、買上客数も前年を上回っている。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・販売量は数か月前から回復の兆しがあるが、減税対象車以外は、相変わらず不振である。全体として販売量はあまり変わっていない。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新型ハイブリッド車は今受注しても来年5月以降の登録となる予定で、新車購入補助金の対象にならない見込みではあるが、他の対象車両に受注が流れており、受注総数は前年比で増加が続いている。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・エコカー減税や補助金制度等が客に浸透しており、その効果で、なんとか現状維持という状況が続いている。
		乗用車販売店（役員）	販売量の動き	・8月は、受注状況がやや悪く、景況も悪いと思っていたが、9月は堅調に推移してきている。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・夏の疲れか、消費疲れか分からないが、客足がぱたりと止まっている。
		都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・大型連休は高速道路料金引下げの影響で客が予想以上に増えた。しかし、レストラン利用は落ち込んでおり、景気は本質的にはまだ下り坂という気がする。
		旅行代理店（支店長）	販売量の動き	・大型連休の時は、高速道路料金引下げで客数は増加したが、マイカー利用で近場の日帰り旅行が多く、売上が思うほど伸びなかった。
		タクシー運転手	販売量の動き	・タクシー業界は高速道路料金引下げの影響をかなり受けている。また、道路の混雑も多くなるばかりである。
	通信会社（企画）	お客様の様子	・高額商品への引き合いは夏前と変わらない。	
通信会社（支店長）	お客様の様子	・客数は、前月を上回っているものの、家計費圧縮のため、もしくは価格選考意識が強いため、売上には結びついていない。		
ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・9月の客数は前年並みである。予約状況は月の前半が少し悪かったが、後半なんとか持ちこたえ、前年と同水準であった。		

		美容室（経営者）	お客様の様子	・景気が悪化した前年同月と比較して、来客数、客単価共に変わっていない。
		設計事務所（職員）	競争相手の様子	・今後の公共事業は政権交代により更に減少すると思われるが、これまでの早期発注により、数か月先までの仕事量は確保出来ている。低価格競争、団体からの脱退、広告費等の経費圧縮が恒常化している。
やや悪くなっている		商店街（代表者）	来客数の動き	・大型連休には高速道路料金引下げの効果で、観光客が大勢商店街に来た。しかし、地元客は県外に出ており、地元客向けの店では、売上が減少している。
		一般小売店〔乾物〕（店員）	来客数の動き	・新型インフルエンザの影響が出ている。
		百貨店（販売促進担当）	単価の動き	・来店数は減っていないが、客単価が低くなっている。正規価格では買わず、セール待ちをする客が多い。
		スーパー（店長）	単価の動き	・買上単価が低下してきている。販売する側も売れないために価格を下げている。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・例年9月は売上の低い月であるが、今年は大型連休等で好影響が出ると思っていた。しかし、客の県外流出のため、依然厳しい状態が続く。
		衣料品専門店（副店長）	単価の動き	・薄手の衣類が良く出ているので、購買単価の動きが良くない。
		家電量販店（営業担当）	お客様の様子	・先月後半より、冷蔵庫、洗濯機等の大型商品の動きが悪くなっており、テレビの動きも落ちてきた。大型連休があったこともあり、今はあまり家電に目が向けられていない。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・価格を引き下げたものの、来店客数への効果が見られず、客数は前年比以下の状況が続いている。
		タクシー運転手	お客様の様子	・今月は大型連休があったが、高速道路料金引下げの影響で観光地は渋滞し、駅でのタクシー客の動きも良くなかった。乗客からは小遣いがないという声をよく聞く。
		通信会社（管理担当）	販売量の動き	・新規需要は想定数で推移しているものの、取替需要が低迷している。
	美容室（経営者）	来客数の動き	・新規客が少ない。	
悪くなっている		商店街（代表者）	お客様の様子	・大型連休前の消費手控えのためか、集客・単価共に落ち込んだ。同業他社とのダンピング合戦も始まり、単価を戻すのは難しい。
		一般小売店〔書籍〕（営業担当）	お客様の様子	・大型連休の売上が、前年同時期と比べ大きく落ち込んだ。高速道路料金引下げで遠方に出かけてしまい、余暇を近場で済ませていた人の来店が極端に落ちた。
		一般小売店〔酒〕（販売担当）	販売量の動き	・例年9月は低調だが、今年は大型連休の影響も加わって極めて悪い。大型連休中の帰省客、観光客は予想より少なく、道路の渋滞は予想以上であった。25日は金曜日で料飲店にとって絶好の稼ぎ時であったが、販売数量・金額共に前年を大きく下回った。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・客が安い商品しか買わなくなり、絶対的な安さが必要になってきた。安ければ品質は問わなくなった。例えばアメリカ産のプロッコリーが国産の半額で出ているなら、アメリカ産のほうが売れるようになった。
		その他飲食〔ファーストフード〕（経営者）	来客数の動き	・客が単価の安い店に取られている。外食から内食への動きが顕著である。
		タクシー運転手	来客数の動き	・今月は大型連休があったが、当地は連休に入ると、客がほとんど動かないので、タクシー売上はガタリと落ちる。また、高速道路料金引下げによって、車で移動する人が増えるので、タクシーの観光利用が減ってしまいマイナス要因である。さらに、夜に飲みに出る人が少なく、客待ちを2時間して、乗車距離はワンメーターという事が多い。
企業動向関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・当社製品が需要期に向かっていくことに加えて新型インフルエンザへの警戒から、除菌関連の受注が増加している。

	建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・見積案件が増えてきている。公共工事は耐震工事関係、民間工事は工場の新設・増築、介護施設の新設・増築の案件が増えており、人繰りの関係ですべてに感じきれない状態にある。
	通信業（部長）	受注量や販売量の動き	・既成コストに対する見方は依然厳しいものの、少し先を見通した動きをする企業も現れている。
	通信業（営業担当）	それ以外	・政府の経済対策の効果が定着してきたとの声を聞く事が多い。特に、エコカー減税は、ハイブリッド車以外の低燃費車も対象になることがCMや口コミ等で周知されたり、高速道路料金引下げや無料化検討も影響して、9月に入ってから客足が増え、昨年以上に伸びている、との声を複数のディーラーから聞いている。
変わらない	繊維工業（経営者）	競争相手の様子	・百貨店をはじめ、小売店での売上は厳しい状況である。特にタオル業界にとって大きな売上を占めていたギフト関連が非常に厳しく、産地に与える影響は大きい。一部のメーカーを除き産地の工場及び関連加工業の仕事が大幅に減少している。
	木材木製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・住宅着工数が相変わらず伸び悩んでいる。
	一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・受注量が増加しておらず、受注残も低調である。
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・見積依頼が順調に出て、提案書も見てくれるようになっていたが、ここに来て、また少し減った。
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量が全く伸びない。
	輸送業（社員）	取引先の様子	・製紙会社及び製造メーカーの出荷量は、前年下期ほどは悪化していないものの、今年度上期初めごろの出荷数量で推移している。
	輸送業（統括）	取引先の様子	・荷物の物量を前年同月と比較しても決して上向きとは思えない。
	公認会計士	取引先の様子	・今月の顧問先の決算、試算表を見ると、建築や不動産関係は非常に悪いが、一部の業種では利益が出ている企業もある。
やや悪くなっている	広告代理店（経営者）	取引先の様子	・政権交代によって、特に郵政事業に関連した業務が停滞、延期するなどの影響が出てきている。
悪くなっている	-	-	-
雇用関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	求人情報誌製作会社（編集者）	周辺企業の様子
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・8月の新規求人数は、3か月前と比較すると20.5%、507人増加し、新規求職者数は13.9%、511人減少している。
変わらない	新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・1口が2～3万円の小口協賛広告を販売しているが、売上・単価共に下がっている。
	学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・大学に送られてくる求人数や求人件数が、やや安定してきている。
やや悪くなっている	職業安定所（職員）	求人数の動き	・管内の有効求人数は、前年同月比で26か月連続で減少し、新規求人数も2か月ぶりに再度減少に転じた。一方、有効求職者数は、9か月連続で増加しており、就職環境はますます厳しくなっている。
	民間職業紹介機関（所長）	それ以外	・雇用の悪化で仕事に就けない人が増加している。中高年齢者ばかりでなく、20代、30代の年齢層も、なかなか仕事に就けないでいる。求人を探すのが困難な状況で、求職活動が長引いた場合、就労意欲の低下に繋がっている。
悪くなっている	-	-	-